

令和3年度茨城県小中学校長研究協議会（潮来市・小学校部会）報告  
 テーマ：感染症対策を踏まえた働き方改革

【協議の概要（要旨）】

- コロナ禍における各校の現状（工夫と課題）
- 「校長会としての取組」「各学校としての取組」「市教育委員会との連携」の視点からの施策

1 効果を上げた具体的取組

学校長会における取組	各学校における取組	市教育委員会等の取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例会、臨時会を除くオンライン会議の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行事の精選</li> <li>・ 教員による立哨指導から保護者・地域による見守りへの移行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症対策に必要な物品の供給</li> <li>・ 人材の活用（消毒ボランティア、学校サポーター、スクールサポートスタッフ等）</li> <li>・ 作品募集の縮小</li> <li>・ 教職員研修会の精選とオンライン化</li> <li>・ タブレット端末の活用</li> </ul>

2 令和4年度以降の取組

(1) 新しい生活様式に基づく取組

感染症対策を取りながらの学校行事等の実現 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来校者数の制限</li> <li>・ 時数（練習時間を含む活動時間等）の使い方の見直し</li> <li>・ 学習活動の圧縮</li> <li>・ 放送やリモートによる集会活動の実施</li> </ul>	衛生管理マニュアルの遂行と業務時間の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日課表の見直し</li> <li>・ 地域人材の活用</li> </ul>
--	---

(2) 通常の生活に戻った後の取組

年間計画の見直し	業務の効率化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行事等の実施時期の変更</li> <li>・ 行事等の内容の軽減（運動会の半日開催、挨拶や形式的な部分の簡素化等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Webを通じた連絡（文書送付、アンケート、出欠確認）</li> </ul>

3 今後の課題と対策

意識改革の観点から	外郭団体との連携の観点から
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定時退勤日の設定</li> <li>・ 働き方改革における学校目標値の設定</li> <li>・ 教員評価等による自己目標の設定</li> <li>・ 環境づくり（退勤予定時刻の明示等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域人材の活用（登下校の安全指導等）</li> <li>・ 関係団体からの協力依頼の縮減（週休日の地域行事への参加等）</li> </ul>
行政との連携の観点から	自校の行事精選、サービスの見直しの観点から
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校務支援システムの導入</li> <li>・ 教職員の増員（常勤の市教諭・講師、学習指導員、ICT支援員等）</li> <li>・ 2学期制の導入</li> <li>・ 一部業務の外部委託（除草作業や施設設備のメンテナンス等）</li> <li>・ 留守番電話の導入</li> <li>・ 創立記念日の休業日設定及び閉庁</li> <li>・ 給食費の公会計化</li> <li>・ 保護者の理解促進（市P連への協力要請、保護者への文書通知）</li> <li>・ 作品募集の精選</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通知表の簡略化（評価時期の見直し、記載内容の簡略化）</li> <li>・ 成績処理期間の設定</li> <li>・ 行事の精選（必要性の再検討、実施方法の工夫）</li> <li>・ 会計業務の効率化（教材費、旅行・集団宿泊的行事費、卒業アルバム費等の保護者から業者への諸費直接納入のシステム構築）</li> </ul>